仕様書

湖北地域消防組合

１　総則

この仕様書は、湖北地域消防組合（以下「組合」という。）において調達する防火装備一式の仕様について適用する。

２　物品名称

令和９年４月採用内定者の防火装備一式の購入について

３　納入期限

令和９年３月３１日（水）まで

４　納入場所

滋賀県長浜市平方町１１３５番地　湖北地域消防本部　総務課

５　納入及び設置作業

物品搬入については、施設に損傷を与えないよう十分な注意を払うよう努め、必要があれば納入経路に養生を施すこと。なお、納入の際には落札者が必ず立会い、万一、建物、設備等に損傷を与えた場合は、落札者の責任において現状に復するものとする。

６　調達物品名及び構成内訳

（物品内訳）

No.	品　名	数　量	仕　様　書
1	消防隊員用防火服 上衣	１０着	仕様書内訳 No.1
2	消防隊員用防火服 下衣	１０本	仕様書内訳 No.1
3	防火帽（しころ含む）	１０個	仕様書内訳 No.2

７　基準品型式・品番及びメーカー等

６の詳細な各仕様は、上記（物品内訳）表内の仕様書欄に示すとおりとする。

８　製作による注意事項

（１）防火服の製作は、契約締結後に本仕様書に基づき詳細に打合せを行い、サンプル品一式を作成した後、承認図（契約締結後、受注者において作成のこと）に従い製作すること。
なお、サンプル品一式の作成は、２回を限度とする。

（２）防火服の製作は、使用目的を十分に達成するために誠意をもって行い、本仕様書の内容に疑問が生じた場合は、その都度当組合と協議の上、決定すること。

（３）防火服の製作に伴い、諸般の理由で本仕様書に変更を必要とする事案が生じた場合は、事前に当組合に報告し協議を行った上、変更承認を受けること。

（４）契約締結後に後継モデルが開発された場合、当組合と変更について協議を行うこと。

９　製作上の条件

防火服として最適な構造・性能及び耐久性を有した製品を製作するため、次の事項に留意し、完成品については、寸法、形状等すべて本仕様書を満足させるものでなければならない。

（１）縫製等は最新の技術で行うこと。
（２）防火服全般にわたり防水処理を確実に行うこと。
（３）使用中の安全性及び快適性の向上に留意すること。
（４）反射素材等は、火炎に強い素材を使用し、部分的に劣化した場合の取替等の処置ができること。
（５）長期の使用に十分耐えるもので、かつ材質は全て良質な素材を使用し、織り傷、汚れ、その他外観を損なうような欠点のないものとすること。

10　設計製作による注意事項

設計製作に当たり、特許権の侵害、その他の法令等に抵触する問題が生じた場合は受注者の責任においてこれらの問題を解決すること。

11　防火服の採寸について

防火服等は個人貸与のため、受注者の責任において採寸等を行い、個人の体格に適合するよう採寸の微調整を行うこと。また、採寸終了後には、採寸結果表を当組合へ提出すること。

なお、採寸表については、当組合が準備を行う。

12　保証期間

（１）防火服一式等の保証は、納入検収後１年間における故障及び破損については、受注者が無償で交換又は修理を行うこと。

なお、別にメーカーで定める１年間以上あるものについては、その期間とする。ただし、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法等に対し適切でない状況下での破損等については、この範囲に含まない。

（２）上記（１）の期間を経過した後においても素材不良等により故障又は破損が生じた場合は、受注者が無償で交換又は修理すること。

13　納入要領

納品に際しては、一式（１名分）ずつ袋等により包装・梱包し、氏名・サイズが容易に確認できるよう札等を貼り付けること。

14　留意事項

（１）本仕様書に基づき実施するものとし、記載なき事項で軽微な業務については消防本部総務課職員の指示に従い、契約金額の範囲内で業務を遂行すること。
（２）当該年度中、当組合が別途発注する同規格・同仕様の物品については、落札価格で対応すること。
（３）調達備品に係る性能、機能及び品質の要求要件は、組合が最低限必要とする要求要件を示しており、備品の性能等がこれらを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

15　質問受付

質問書は、ＦＡＸによる方法とする。

次の手順により行うこと。
質問受付期間　令和８年１１月２７日（金）１２時００分まで
①質問書（様式）を、下記へＦＡＸ送信する。
②ＦＡＸを送信した旨、下記へ連絡する。
　湖北地域消防本部　総務課
　電話：0749-62-4194（直通）　ＦＡＸ：0749-65-4450
※上記以外の方法による申込は受け付けない。
質問回答期限　令和８年１２月１日（火）

16　代価の支払方法

検査又は検収合格後、適正な請求があった日から３０日以内に支払う。

17　その他

（１）納入検収後、当組合が求めれば納入場所において製品取り扱い説明会を実施すること。
日程等については、事前に本部総務課職員と協議の上、決定すること。
（２）契約締結後、第３者公的機関が発行する証明書を提出し、納入される防火服等がガイドライン適合品であることを証明すること。
（３）受注者は当組合が指示するとおり、納入総数と同数の廃棄予定防火装備一式の引き取りを行うこと。
（４）その他本仕様書に明示されていない事項で疑義が生じた場合は、本部総務課職員と協議すること。

以　上

消防隊員用防火服（上衣・下衣）仕様

1　防火服上下については、次のものとすること。

メーカー	型番
小林防火服株式会社	ブラックテックＸ

※上下同一型番であること。

2　上衣

（1）身頃

ア．ショートタイプの上衣とする。

イ．前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け地縫いして片倒し飾り縫いとする。

ウ．左前身に幅１０cm の前立付きとし前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。

エ．右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。コイルファスナー下端部に合わせて持出用つまみ（外衣共生地）をつける。

オ．左右前立側面にマイクハンガーを取り付ける。マイクハンガーの内側は押しフック付きとする。マイクハンガー下部にトランシーバーアンテナを抑えるループを取り付ける。詳細は当消防組合と協議すること。

カ．後身頃は２枚仕立てとし、裾部についてはロングテールタイプとする。

キ．見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付ける。

ク．所定の位置に片布を取り付ける。

ケ．前身頃(V 字)･後身頃背中（縦使い２本）･裾に反射テープを縫い付ける。

コ．前身頃及び後身頃裾部に反射テープを縫い付けること。

サ．後身頃背中に当消防組合が指定する文字「湖北地域消防/KOHOKUAREA.FD.」、裾部には「SHIGA」を入れること。（詳細は当消防組合と協議する。）

シ．前立て部分に当消防組合が指定する文字「KOHOKU　AREA　FD」を入れる事。(詳細は当消防組合と協議する。)

（2）襟

ア．表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。

イ．襟巾は後中心で約１１cm とする。

ウ．襟の前部にはストラップが取り付けてあること。

エ．襟付けは防水構造を用いた縫製とする。

オ．表襟中央に襟吊りとサイズマークを付ける。

カ．衿、ストラップは配色生地を使用すること。

キ．ストラップに縫い付ける面ファスナーは生地と同系色とする。

（3）袖

ア．袖は特殊ハギを用いた 4 枚袖とする。

イ．袖口には擦れ防止用として斜めにカットし共生地等で補強する。

ウ．袖口より約１０cm～１３cm 上に反射テープを縫い付ける。

エ．袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープ又は面ファスナーを取り付ける。

オ．左袖指定する位置に丸型面ファスナー（B 面）を縫い付けること。取付位置については、当消防組合と協議すること。

カ．左右上腕部にループを設けること。詳細は当消防組合と協議する。

（4）裾ポケット

ア．ポケットを左右身頃に付け､形状は三方風巾ポケット雨蓋付きとする。

イ．雨蓋は面ファスナーを付け、地縫いの上飾り縫いとする。

ウ．ポケット底部に水抜き穴を設けること。

エ．ポケット内側にループを取り付けること。

オ．左右雨蓋に外側にループを取り付ける。

カ．左右雨蓋ポケットに当消防組合が指定する形の補強布を使用すること。

（5）胸ポケット

ア．両胸に雨蓋付き三方風巾ポケットを縫い付ける｡雨蓋は三等分割とし補強布を縫付けること。

イ．ポケット内側に警笛用ループを取り付ける。

ウ．ポケット底部に水抜き穴を設ける。

エ．左右胸ポケット下部に D 環を取り付ける。

（6）吸水袋

防火服１着につき、吸水袋を１個取付ける。

（7）中衣

ア．中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり､各々を重ね縫いすること。

イ．両脇に保冷材収納用ポケットを縫い付ける｡ポケット生地はメッシュとする。

ウ．透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いしシームテープで目止めをする。

エ．所定位置に取り扱い表示､及びサイズマークを縫い付ける。

オ．バイヤステープで身頃を始末し､外衣着脱用コイルファスナーを付ける。

（8）色相

色相については、別図①を基本とし、当組合と別途協議の上決定すること。

3　下衣

（1）身頃

ア．ハイウェストタイプのズボンとする。

イ．ズボンの形状は､最初から｢く｣の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。

ウ．内股部･脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。

エ．脇縫い･内股縫い･尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いして片倒し飾り縫いとする。

オ．内股部分は、配色生地を使用すること。

カ．前身頃左右各２ヶ所にループを取り付ける。詳細は当消防組合と調整すること。

（2）前立て

前立てはコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。

（3）膝部

膝部に補強布を縫い付けること。

（4）腰部

ア．前身頃上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける｡端末部分はカン止めをする。

イ．腰裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。

ウ．所定の位置に片布･サイズマークを縫い付ける。

（5）腰部調整ベルト

ア．ベルト通しを４本～６本縫い付ける。

イ．ベルト幅は約３８ミリとし､腰の両側で確実に締められる構造であること。

ウ．ベルトが抜けない処理を施すこと。

エ．締め付けた後に緩まないように面ファスナーで固定できる構造であること。

（6）防火服用ベルト通し

ア．防火服ベルト通しを５本縫い付ける。

イ．後ろ側３箇所については有効幅８ｃｍ～９ｃｍとする。

ウ．前側２箇所については有効幅７ｃｍとする。

エ．前側２箇所ベルト通し下部にD環を取り付けること。

（7）大腿部ポケット

ア．両大腿部に雨蓋付三方風巾ポケットを設けること。

イ．ポケット下部には水抜き穴を設けること。

ウ．雨蓋は面ファスナー開閉式とする。
エ．左右雨蓋に補強布を縫い付ける。

（8）裾
ア．両裾から約１０ｃｍ上の位置に、反射テープを縫い付ける。
イ．裾部は擦り切れ防止のため、補強布を縫い付ける。
ウ．裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。
エ．裾口に絞り用フラップを取り付ける。
オ．中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各２個取り付けること。
カ．裾にはアルミ生地にて補強し、視認性、耐薬品性に対応すること。

（9）中衣
ア．中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
イ．透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。
ウ．バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。
エ．所定の位置に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

（10）色相
色相については、別図②を基本とし、当組合と別途協議の上決定すること。

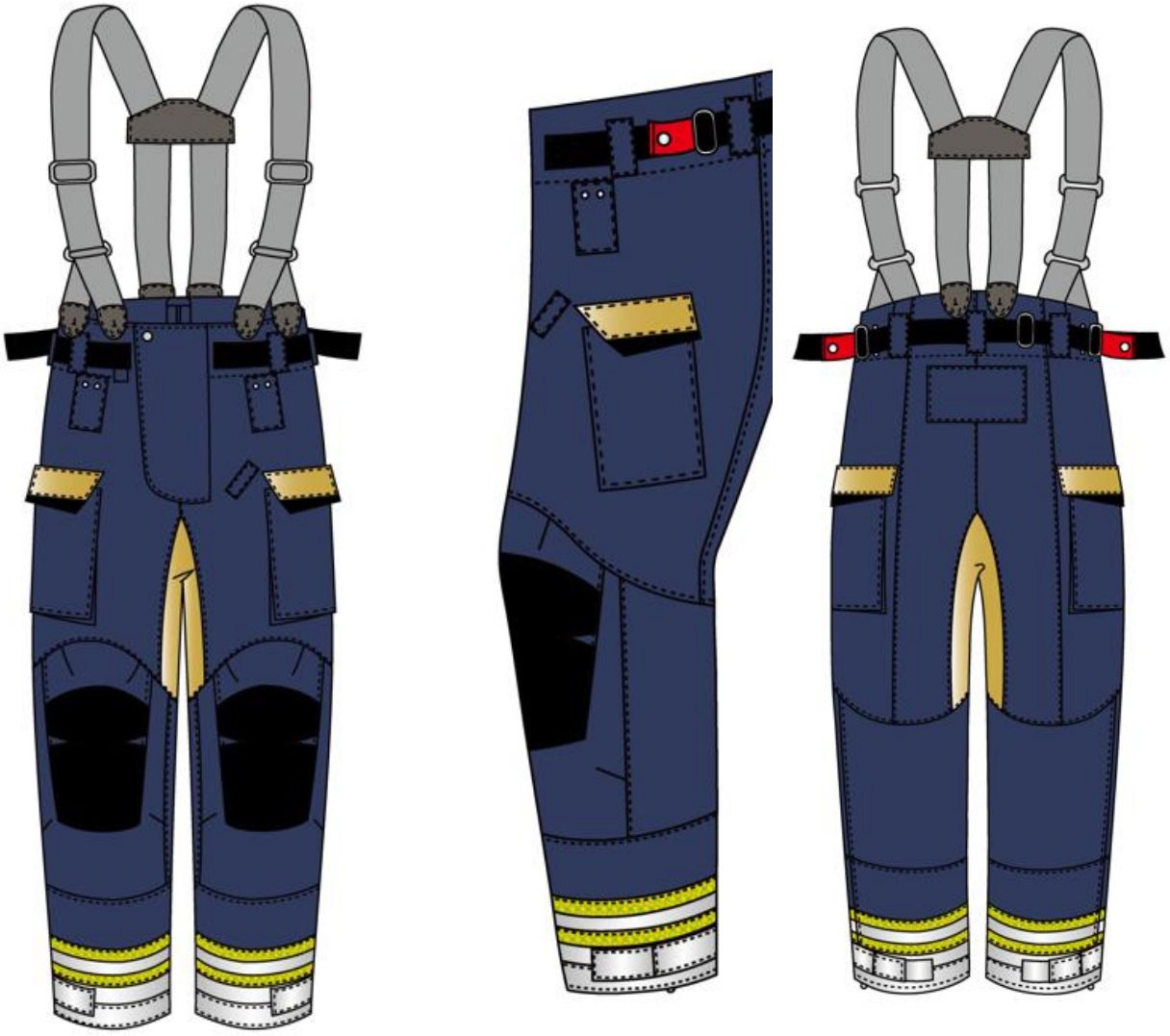
（別図①）

概要図 上衣





（別図②）概要図ズボン



防火帽（しころ含む）仕様書

１　防火帽については、次の同一品とすること。

メーカー	型番
小林防火服株式会社	ＦＨ－０１Ⅱ

２　構成

防火帽は、帽体、着装体、顔面保護板、あごひも等で構成するものであること。

３　性能

FRP 製で耐食性に優れ、自己消火性を有すること。

４　構造

（１）概要

この防火帽は、帽体表面はガンメタリック色に仕上げ、焼付塗装とし、容易に剥離しないものであること。帽体内側には衝撃吸収ライナー、着装体、あごひも、顔面保護板を取り付けること。顔面保護板は、視野の障害にならない位置で、帽体内部に収納できるものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。又、帽体外部にはヘッドライトが取り付けられるものとする。

（２）形状等

ア．帽体

①　本体

Ａ　表面は滑らかで、堅牢であること。

Ｂ　帽体表面の仕上げはガンメタ色とし、容易に剥離しないこと。

② 周章

帽体周囲に赤色反射テープを貼り付けること。

③ 徽章

帽体前面中央に強固に貼り付けること。

④ 記名表示

帽体の両側面に白色角ゴシック体の文字により「湖北地域消防本部/KOHOKU AREA F.D」と表示すること。

⑤ 掛け金具

帽体後部中央に半月環状の金具を取り付けること。

⑥ 識別表示貼り付け台座

指定の識別表示がシール、マジックテープ等が貼り付け可能であること。

⑦ ヘッドライト取付

帽体両サイドにヘッドライトを固定するための釦、ピン、ホルダー等を取り付けること。

⑧ 階級線

帽体後部に階級シールを貼付けること。なお、サイズ等の詳細については当消防組合と協議すること。

イ．着装体

① ハンモック

かぶり深さを調整できる補助ハンモック付とすること。

② ヘッドバンド

頭回りに応じて、概ね５４ｃｍ～６３ｃｍまでの範囲で調整でき、又、ダイヤルラチェット式により、着装時でも容易に調整可能で、フィット感が高いものとする。

③ しころ取付板

Ａ　しころ取付用として、帽体に取り付けること。

Ｂ　しころ取付板にはドット釦(オス)を５～６個取り付けるものとすること。

④ 頭頂パッド

頭頂部にクッション性、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した大型の頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

⑤ ヘッドバンドクッション

後部ダイヤルラッチェット部にクッション性、吸水性及び耐久性に優れた素材を着脱可能な方法で取り付けること。

ウ．あごひも

アラミド繊維で、リング式の調整金具によりサイズ調整が出来るもの

エ．衝撃吸収ライナー

難燃性を施した発泡スチロール

オ．顔面保護板

① 帽体ひさし部より内部の視野の障害にならない位置に収納できるものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。

② 顔面保護板を降ろした状態で、帽体と顔面保護板の間に隙間がないこと。

カ．しころ

①表生地は防火服の表生材と同じものを使用すること。

②当消防組合仕様の第一種保安帽に取り付けられるように、釦位置を調整すること。

③見返しは、折り返し面ファスナー止めとする。

④裏面に片布を縫い付ける。

⑤署隊識別ワッペン装着するためのしころ中央位置に面ファスナー台座を１枚取り付けること。取付位置については別途指示する。


湖北地域消防
KOHOKU AREA F.D.